

学校法人獨協学園の平成19年度決算と20年度予算について

平成19年度事業報告概要と決算

1. 事業報告概要

獨協学園は、3大学、2中学・高等学校、1専門学校から構成され、人文科学・社会科学・自然科学の分野において、それぞれ特化し専門化した領域を有している総合的な学園です。

また「各学校の自主性、独自性を尊重しつつ、しかも一つの法人として整合性をもって経営する」との経営方針のもと運営されています。

学園は、教育・研究・医療の充実を組織的に推進するため、平成10年に中長期にわたる基本計画を策定し、以降2年毎に見直しを実施してきました。平成19年度には基本計画策定委員会のもとに設置されている財務改革小委員会において、前年度に引続き更に検討を進めてまいりました。

その要点は、厳しさを増す外部環境の変化並びに学園・各学校の財務状況を直視し、今後、諸事業の基盤となる財務の自立及び認証評価等第三者による評価にも耐えうる財務の改善なくして学校の持続性は図れず、また、社会的責任を問われることになるとの認識のもと、各学校及び学園全体として目指す共通重要項目に係る諸財務指標の早期達成を図る一方、法令遵守の徹底など学園・各学校が危機意識と情報を共有し、自己責任と自助努力により経営の改革を進めるということに集約されます。

平成19年度の各学校等の主要事業の概要は次のとおりです。

獨協大学は、平成19年4月国際教養学部言語文化学科を開設するとともに地域総合研究所・環境共生研究所を新設し、天野貞祐記念館も竣工し共用を開始しました。認証評価については大学基準協会による大学及び日弁連法務研究財団による法科大学院の認証評価とも、それぞれ「適合」と認定されました。

獨協医科大学は、平成19年4月、高まる看護師需要に応えるため従来の附属看護専門学校の存続に加え、看護学部を開設しました。

また、地域拠点病院として充実を図るため、大学病院本館の外来棟リフォーム工事、越谷病院のHCU新設等診療体制の整備を実施しました。

姫路獨協大学は、平成19年4月、前年度の医療保健学部につき薬学部を開設しました。学生定員確保等課題となっている文系3学部の改組再編等を実施し改革に取り組んでいます。

獨協中学高等学校は、入試回数の増加など受験者の確保策を強化し入学者の質向上を図りました。また、従来に引き続き、環境教育の実践など中・高一貫教育体制の整備等を行いました。更に、収支改善策として、収容定員の確保を図る施策を講じました。

獨協埼玉中学高等学校は、教育の質向上のため、生徒の進路に応じたカリキュラムの改正により獨協大学コースを新設しました。

また、来年度の耐震工事に備え高校校舎の耐震補強診断、設計を実施いたしました。

学園本部は、任期満了に伴う役員・評議員の改選を滞りなく実施するとともに新学科設置・学部改組に伴う寄附行為の変更届など各学校の主要事業に連携してあたりました。更に、平成19年4月、獨協学園120周年記念事業の一環として進めてきた獨協学園資料センター（獨協歴史ギャラリー）を獨協大学の天野貞祐記念館エントランスホールに新設しました。

また、前年度設置した内部監査室は物品調達・文書管理業務等について、各校監査員相互によるクロス監査を実施しました。

2. 消費収支（表1・図表1）

帰属収入は予算784億59百万円に対し、779億78百万円で4億81百万円下回りました。主要項目では医療収入10億27百万円、補助金1億82百万円の予算比減少に対し、学生生徒納付金は2億98百万円予算比増加しました。一方、消費支出は予算789億4百万円に対し決算790億36百万円と1億32百万円予算対比支出増加となりました。

主要項目では医療経費は2億54百万円の予算比増加となり、人件費は2億49百万円の予算比増加となりました。

この結果、消費収支差額は予算95億6百万円の支出超過に対し、決算79億80百万円と15億27百万円好転しました。帰属収支差額（基本金組入前収支差額）は決算では10億58百万円の赤字で予算4億45百万円の赤字を更に下回りました。帰属収支差額の帰属収入に対する比率は△1.4%となりました。

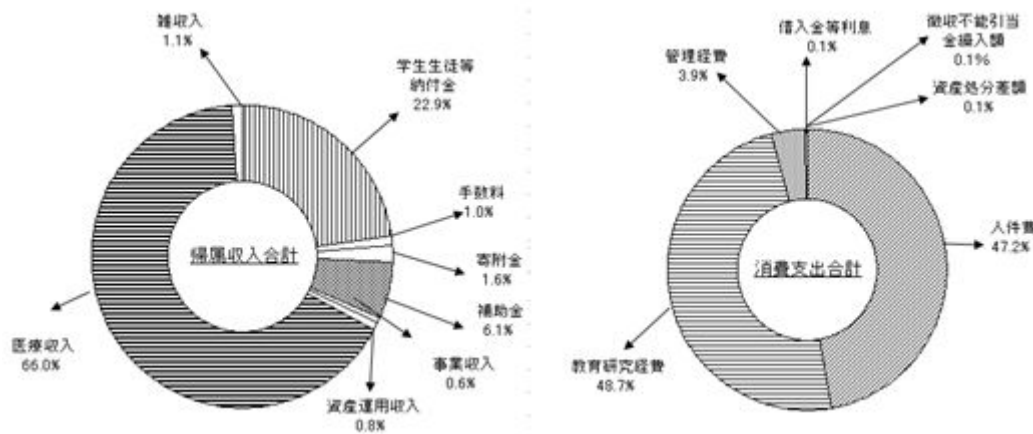
平成19年度消費収支計算書
(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(表1)

(単位:千円 端数未調整)

収入の部					支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	構成比	科目	決算額	決算額	差異	構成比
学生生徒等納付金	17,538,570	17,836,872	△298,302	22.9	人件費	37,082,590	37,331,865	△249,275	47.2
手数料	691,795	813,010	△121,215	1.0	教育研究経費	38,307,653	38,466,900	△159,247	48.7
寄附金	1,383,870	1,260,643	123,227	1.6	医療経費	20,131,230	20,385,538	△254,308	25.8
補助金	4,913,220	4,730,864	182,356	6.1	管理経費	3,109,015	3,050,859	58,156	3.9
国庫補助金	3,771,460	3,628,224	143,236	4.7	借入金等利息	65,670	60,043	5,627	0.1
地方公共団体補助金	1,141,760	1,101,932	39,828	1.4	資産処分差額	43,498	72,215	△28,716	0.1
その他の補助金	0	708	△708	0.0	徴収不能引当金	194,620	54,340	140,280	0.1
資産運用収入	534,725	587,926	△53,201	0.8	繰入額				
資産売却差額	326	2,826	△2,500	0.0	予備費	101,000	0	101,000	0.0
事業収入	545,960	459,163	86,797	0.6					
医療収入	52,465,690	51,438,465	1,027,225	66.0					
雑収入	385,059	848,309	△463,250	1.1					
帰属収入合計	78,459,215	77,978,078	481,137	100.0					
基本金組入額合計	△9,061,341	△6,921,358	△2,139,983	△8.9					
消費収入の部合計	69,397,874	71,056,720	△1,658,846	91.1					
					消費支出の部合計	78,904,046	79,036,222	△132,176	100.0
					当年度消費支出				
					超過額	△9,506,172	△7,979,502	△1,526,671	
					前年度繰越消費支出				
					超過額	△69,729,913	△67,810,281	△1,919,632	
					基本金取崩額	0	0	0	
					翌年度繰越消費支出				
					超過額	△79,236,085	△75,789,783	△3,446,302	

平成19年度 消費収支決算 科目構成(図表1)



3. 資金収支 (表2)

資金収入では医療収入は減少しましたが、学生生徒等納付金、退職金財団交付金等雑収入が増加し資金収入の合計は998億79百万円となり予算に比し33億23百万円の増加となりました。

資金支出では、人件費支出、医療経費など教育研究経費支出の増加等により、資金支出の合計は1030億41百万円と予算比35億83百万円の支出増加となりました。次年度繰越金は177億94百万円と予算に対し7億38百万円の上回りとなりました。

学園全体の金融資産残高は355億44百万円で前年度対比33億89百万円の減少となりました。外部借入金は35億12百万円で前年度末に比べ8億78百万円減少しました。(獨協学園全体の19年度決算、事業報告書、20年度予算、事業計画についての詳細は、獨協学園のホームページをご覧ください。)

平成19年度資金収支計算書
(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(表2)

(単位:千円 端数未調整)

収入の部					支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	構成比	科目	予算額	決算額	差異	構成比
学生生徒等納付金収入	17,538,570	17,836,872	△298,302	14.8	人件費支出	36,521,965	36,927,677	△405,712	30.6
手数料収入	691,795	813,010	△121,215	0.7	教育研究経費支出	32,756,185	32,913,549	△157,364	27.2
寄附金収入	1,327,200	1,149,288	177,912	1.0	医療経費	20,131,230	20,404,848	△273,618	16.9
補助金収入	4,913,220	4,730,864	182,356	3.9	管理経費支出	2,774,727	2,699,556	75,171	2.2
国庫補助金収入	3,771,460	3,628,224	143,236	3.0	借入金等利息支出	65,670	60,043	5,627	0.0
地方公共団体補助金収入	1,141,760	1,101,932	39,828	0.9	借入金等返済支出	878,000	878,000	0	0.7
その他の補助金収入	0	708	△708	0.0	施設関係支出	3,930,401	3,448,792	481,609	2.9
資産運用収入	534,725	587,926	△53,201	0.5	設備関係支出	2,848,660	2,503,891	344,769	2.1
資産売却収入	360,000	570,239	△210,239	0.5	資産運用支出	16,555,065	15,341,602	1,213,463	12.7
事業収入	545,960	459,163	86,797	0.4	その他の支出	10,359,680	16,328,354	△5,968,674	13.5
医療収入	52,465,690	51,438,465	1,027,225	42.6	予備費	101,000	0	101,000	0.0
雑収入	385,059	850,544	△465,485	0.7	資金支出調整勘定	△7,333,366	△8,060,192	726,826	△6.7
借入金等収入	0	0	0	0.0					
前受金収入	4,073,100	4,211,305	△138,205	3.5					
その他の収入	26,784,013	30,792,477	△4,008,465	25.5					
資金収入調整勘定	△13,063,137	△13,560,841	497,704	△11.2					
当年度収入合計	96,556,195	99,879,313	△3,323,118	82.7	当年度支出合計	99,457,987	103,041,273	△3,583,287	85.3
前年度繰越支払資金	19,957,519	20,956,074	△998,556	17.3	次年度繰越支払資金	17,055,726	17,794,113	△738,387	14.7
収入の部合計	116,513,713	120,835,387	△4,321,674	100.0	支出の部合計	116,513,713	120,835,387	△4,321,674	100.0

平成 20 年度の事業計画と予算について

1. 事業計画概要

獨協学園は、明治のはじめドイツ文化を中心とする西欧文化の粋を摂取して、わが国文教の興隆をはかる目的で設立された獨逸学協会(明治14年、1881年)にその端を発しています。その後、獨逸学協会学校が設立され、獨協中学高等学校の母体となりました。以降、獨協大学、獨協医科大学、姫路獨協大学、獨協埼玉中学高等学校を設立するとともに、獨協医科大学では附属の3病院と看護専門学校を有しています。

獨協学園では、平成10年以降、中長期計画として基本計画を策定し、2年毎にこれを見直し、私立学校を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中であって、時代的、社会的ニーズに応じていくため、それぞれの学校の自主性を活かしながら、特色ある学校経営を進めております。

平成20年度は従来からの取組みのうえに、主要な事業として以下のとおり計画しております。

獨協大学は、平成20年4月法学部に総合政策学科を開設します。さらに今年度は外国語部新学科増設の準備を行います。施設面では、第2次キャンパス再編事業、「駅前教育施設」「東側新教室棟」の建設事業に着手する予定です。

獨協医科大学は、大学病院において、7対1看護体制を導入するとともに、前年度に引き続き外来棟リフォーム工事、越谷病院において、ハイケア治療室の新設、オーダーリングシステムの更新を実施します。また、平成19年11月設置の内部監査室、不正防止計画推進室を通じて、法令遵守の徹底、適正な運営、管理を推進します。

姫路獨協大学は、平成20年4月から外国語学部及び経済情報学部を改組再編スタートするとともに、医療保健学部、薬学部の学年進行にともなう教育・実習の充実と施設・設備の拡充を図ります。

獨協中学高等学校は、前年度実施した外部評価アンケート結果を基に中長期的なビジョンの検討・構築を行います。

獨協埼玉中学高等学校では、国際交流の推進、進路別に対応できるカリキュラムの浸透を重要課題とし、施設面では高校校舎の耐震補強工事を実施します。

学園本部は、各学校の事業計画を連携して進めてまいります。特に平成20年度は2年毎に実施している基本計画の見直しを行います。

2. 消費収支(表4 図表2)

帰属収入は801億55百万円で前年度予算対比16億95百万円増加します。うち、医療収入が18億16百万円、学生生徒納付金は6億44百万円の増加となっています。一方、補助金全体で5億28百万円の減少を見込んでいます。消費支出合計は805億48百万円で前年度予算対比16億44百万円増加します。うち、医療収入の増加に伴う医療経費の増加は5億55百万円を見込んでいます。また、人件費が6億31百万円増加します。これは、前年度設置した3大学の新学部の教員増員、大学病院における7対1看護体制への移行にともなう看護職員の増員などが主要因となっております。

基本金組入額は前年度の90億61百万円に対し、52億90百万円と37億71百万円の減少となります。この結果、消費収支差額は前年度の95億6百万円から、56億83百万円の支出超過に縮小する見込みです。

また、帰属収支差額は前年度予算4億45百万円の支出超過から、3億93百万円の支出超過となり、2年連続の支出超過予算となります。これは、姫路獨協大学で、既存学部の入学者減少と平成18年度、平成19年度に設置した医療保健学部、薬学部の完成年度までの過程で大きな支出超過となっていること、更に平成19年度に設置した獨協大学国際教養学部、獨協医科大学の看護学部等の学年進行に伴い先行投資となっていることが主要因です。

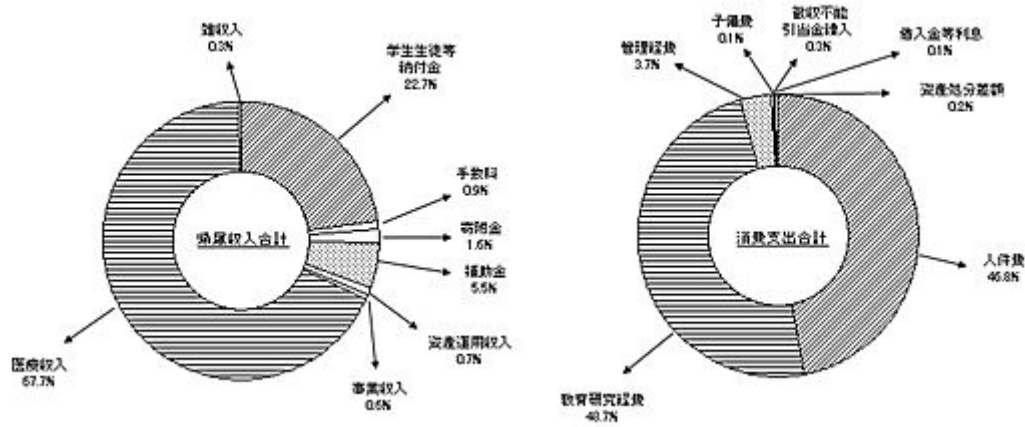
なお、基本計画では、平成21年度まで若干の支出超過を見込んでおりますが、新学部の学年進行が進む平成22年度以降は黒字化を計画しております。

平成20年度消費収支予算書 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(表4) (単位:千円)

収入の部				支出の部			
科目	平成20年度 予算額	平成19年度 予算額	増減	科目	平成20年度 予算額	平成19年度 予算額	増減
学生生徒等納付金	18,182,559	17,538,570	643,989	人件費	37,713,826	37,082,590	631,236
手数料	716,974	691,795	25,179	教育研究経費	39,266,875	38,307,653	959,222
寄附金	1,274,370	1,383,870	△109,500	医療経費	2,068,610	20,131,230	554,880
補助金	4,385,147	4,913,220	△528,073	管理経費	2,993,291	3,109,015	△115,724
国庫補助金	3,280,254	3,771,460	△491,206	借入金等利息	48,240	65,670	△17,430
地方公共団体補助金	1,104,893	1,141,760	△36,867	資産処分差額	197,547	43,498	154,049
その他の補助金	0	0	0	徴収不能引当金繰入額	227,180	194,620	32,560
資産運用収入	582,055	534,725	47,330	予備費	101,000	101,000	0
資産売却差額	2,016	326	1,690				
事業収入	485,270	545,960	△60,690				
医療収入	54,281,990	52,465,690	1,816,300				
雑収入	244,693	385,059	△140,366				
帰属収入合計	80,155,074	78,459,215	1,695,859	消費支出の部合計	80,547,959	78,904,046	1,643,913
基本金組入額合計	△5,289,957	△9,061,341	3,771,384	当年度消費収支差額	△5,682,842	△9,506,172	3,823,330
消費収入の部合計	74,865,117	69,397,874	5,467,243				

平成 20 年度 消費収支予算 科目別構成(図表 2)



3. 資金収支(表5)

施設・設備面では、獨協大学において「駅前教育施設」、「東側新教室棟」建設など第2次キャンパス再編事業に着手、獨協医科大学では、大学病院において、前年度に引き続き外来棟のリフォーム工事、越谷病院において、ハイケア治療室の新設、オーダリングシステムの更新、姫路獨協大学では、薬学部の学年進行にともなう設備の設置などにより、77億20百万円の投資を見込んでおります。

上記の大幅設備投資などにより、実質金融資産残高は平成20年度約23億56百万円減少する見込みです。

平成 20 年度 資金収支予算書
(平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで)

(表 5)

(単位:千円)

収入の部				支出の部			
科目	平成 20 年度 予算額	平成 19 年度 予算額	増減	科目	平成 20 年度 予算額	平成 19 年度 予算額	増減
学生生徒等納付金収入	18,182,559	17,538,570	643,989	人件費支出	37,217,742	36,521,965	695,777
手数料収入	716,974	691,795	25,179	教育研究経費支出	34,103,947	32,756,185	1,347,762
寄附金収入	1,215,700	1,327,200	△111,500	医療経費	20,686,110	20,131,230	554,880
補助金収入	4,385,147	4,913,220	△528,073	管理経費支出	2,659,513	2,774,727	△115,214
国庫補助金収入	3,280,254	3,771,460	△491,206	借入金等利息支出	48,240	65,670	△17,430
地方公共団体補助金収入	1,104,893	1,141,760	△36,867	借入金等返済支出	712,000	878,000	△166,000
その他の補助金収入	0	0	0	施設関係支出	5,557,796	3,930,401	1,627,395
資産運用収入	582,055	534,725	47,330	設備関係支出	2,162,373	2,848,660	△686,287
資産売却収入	907,032	360,000	547,032	資産運用支出	17,933,502	16,555,065	1,378,437
事業収入	485,270	545,960	△60,690	その他の支出	8,454,087	10,359,680	△1,905,593
医療収入	54,281,990	52,465,690	1,816,300	予備費	101,000	101,000	0
雑収入	244,693	385,059	△140,366	資金支出調整勘定	△6,668,258	△7,333,366	665,108
借入金等収入	1,200,000	0	1,200,000				
前受金収入	4,022,300	4,073,100	△50,800				
その他の収入	26,629,915	26,784,013	△154,098				
資金収入調整勘定	△13,160,280	△13,063,137	△97,143				
当年度収入合計	99,693,355	96,556,195	3,137,161	当年度支出合計	102,281,942	99,457,987	2,823,955
前年度繰越支払資金	15,955,149	19,957,519	△4,002,370	次年度繰越支払資金	13,366,562	17,055,726	△3,689,164
収入の部合計	115,648,504	116,513,713	△865,209	支出の部合計	115,648,504	116,513,713	△865,209